実践記録

学校名 / 学年	小学校 / 6年	
教科等：単元名	総合的な学習：不幸のメールって何？	
キーワード	不幸のメールとその対処の仕方について考える。	
情報モラル指導 モデルカリキュ ラム表における 目標	分類	情報社会の倫理 法の理解と遵守 安全への知恵 情報セキュリティ 公共的なネットワーク社会の構築
	大目標項目数字 大目標項目内容	c . 情報社会でのルール・マナーを遵守できる
	中目標項目番号 中目標項目内容	c 3 - 2 「ルールや決まりを守る」ということの社会的意義を知り、尊重する。
授業会場	パソコン教室 普通教室 特別教室〔 〕 その他〔 〕	
学習の目標	不幸のメールについて知り、多くの人に迷惑をかけることにつながることを理解する。	
使用教材	教材名	不幸のメールって、ほんとう？
	製作者	
	入手先（URL等）	ポータルサイトトップページより

展開

	学習活動	指導 評価
導入	不幸のメールってなに？を見る	不幸のメールの内容が理解できたか
展開	感想を出し合い、話し合う。 不幸の手紙についても考え、話し合う。	不幸のメールや不幸の手紙を出すことで、多くの人に迷惑をかけることになるということが理解できたか。
おわり	感想を発表し合う。	自分に来たときに止める勇気が持てたか。

授業の成果

- ・不幸の手紙に似た体験を持つ子が何人かいたので、そのことを話しながら自分たちの身近な問題としてとらえ、考え合うことができた。

指導のポイント・留意点

- ・自分たちの身近なところにあう問題だととらえることが学習の始まりだと思う。